

2013年11月1日
イオン北海道株式会社

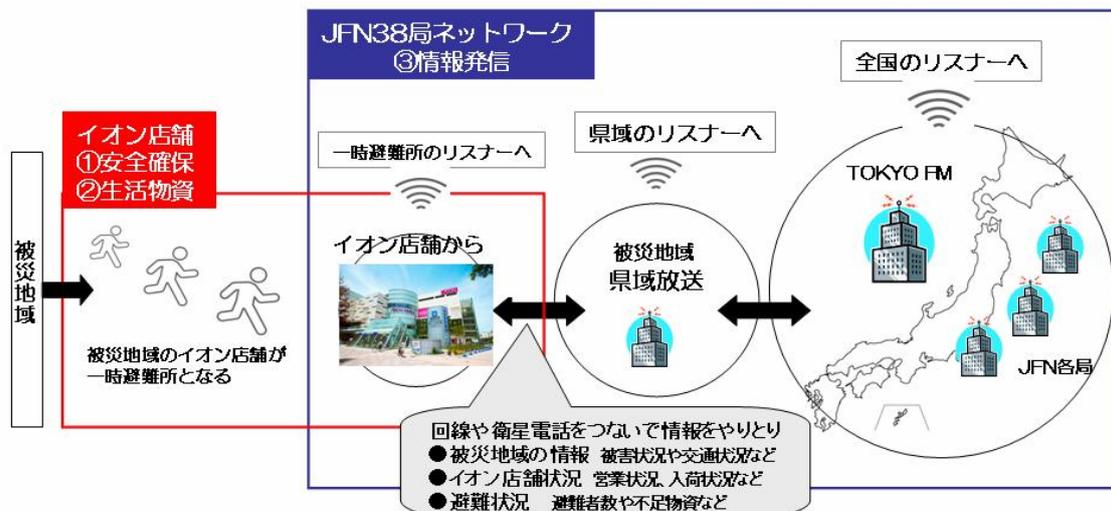
イオン北海道株式会社と株式会社FM北海道は 防災協定の締結に向けた協議を開始いたします

イオン北海道株式会社は、11月1日(金)にイオン株式会社がTOKYO FMをはじめとするJFN38局と防災協定を締結にするにともない、北海道を代表するラジオ局、株式会社FM北海道と防災協定の締結に向けた協議を開始いたします。

イオン株式会社が11月1日(金)全国FM放送協議会(JFM)と、「災害時における総合防災ネットワーク構築に関する協定」を締結いたしました。この協定は地域のくらしのライフラインとして、防災拠点の役割を担うイオンが連携することで、災害時に必要な「安全を確保できる場所」と「生活物資や情報を入手できる場所」を兼ね備えた防災拠点を全国に構築していくものです。具体的にはイオンの店舗と、その所在地にあるFM局を回線や衛星電話など状況に応じた手段で結んで情報をやりとり致します。店舗の一時避難者に情報を伝えながら、イオン担当者から、周辺の被害状況、避難所の様子、店舗の営業・サービス情報、物資の供給状況などをFM局に提供し、その情報を地域放送や全国ネット放送を通じて発信します。こうしたイオングループの取り組みをより地域に密着した形で実現するために、当社と株式会社FM北海道は災害時に備えた準備を進めてまいります。

東日本大震災当時、避難住民から最も多かった要望は「タイムリーな情報がほしい」というものでした。インフラが寸断されたとき、ラジオはとても大きな役割を発揮しました。災害時こそ、被災地のリアルな情報を吸い上げ、ネットワークを通じて、地域・道内・全国のリスナーに情報を有機的に組み合わせることで発信することが求められます。

北海道の大地はたくさんの自然の恵みをわたしたちと与えてくれますが、ときには厳しい災害をもたらします。当社はこれからも地域に根ざし、地域の企業と連携して、よりお客さまにとって安心・安全なお店づくりを構築してまいります。



【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道株式会社 広報部 電話 011-865-9111